

一緒に尼崎を盛り上げましょう!

市民活動団体・事業者の皆さん!

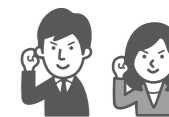
# 市民提案制度

本市では、市民活動団体や事業者の皆さんからの提案を基に事業化を進める「市民提案制度」を実施しています。まちの課題解決や魅力をもっと高めるために、皆さんの思いを一緒にカタチにしませんか。  
ID 1010136 図協働推進課 〒 660-8501 【住所不要】 ☎ 6489-6153 FAX 6489-6173。

## 行政×民間のチカラ

近年、行政だけ・民間だけでの取り組みではなかなか解決できないまちの課題が増えています。そこで、行政と皆さんとが課題や目標を共有し、

お互いの強みを出し合って、相乗効果を発揮しながら行う「協働の取り組み」が大切になってきています。



## 市民提案制度とは

本市では、協働の取り組みを進めるために、「市民提案制度」を実施しています。皆さんの提案を基に、市の事業の委託化や市との協働事業化(おおむね30万円までの補助金も交付)を図ることに加え、さまざまな方法で協働の取り組みにつなげようとするも

のです。原則として5人以上の団体で、1年以上活動しているなどの要件はありますが、まちの課題を解決するなどの公益的な事業であれば、市民活動団体から事業者まで、幅広く提案することができます。

## 聞かせてください!あなたの思い

「せっかく提案しても、市役所の人には話を聞いてもらえないのでは?」「会社の売り込みと勘違いされてしまうのでは?」と思っていませんか。これは、提案者と市がお互いの思いや考え、意図を理解しないままに話を進めようとするので起きてしまいます。同制度では、提案者が何を課題とっていて、どんな状態を目指したいのかを、まずは協働推進課が丁寧に伺います。その後、提案者と所管課の状

況を踏まえて歩み寄りながら、お互いをパートナーとして提案を具体化していけるように同課の職員がコーディネートしていきます。**事業化に向けて** アイデア段階でも受け付けているので提案しやすく、実現方法の選択肢が広がるのが同制度の特徴です。事業化は簡単ではありませんが、一緒に具体化していきましょう。

## 提案は簡単!一緒に作り上げていきましょう

提案書は A4 用紙 1 枚 程度、構想段階で OK! 協働推進課が丁寧にヒアリング 市の所管課と実現に向けて協議開始 審査会にチャレンジ! 採択・実施へ



話し合いを進める中で、パートナーとしての関係を築いていきます

## こんな思いがカタチになりました

市民提案制度を利用した理由やメリット、利用した後の市への印象の変化などを、提案団体に伺いました。

### Case 1

#### 思いがカタチになるまで

子どもたちのための第3の居場所づくり「双星放課後カフェ」を尼崎双星高校で安定的に実施することで、子どもたちがより安心できる場にしたい

市にも取り組みの意義を理解してもらい、協働の取り組みとして実施するために、同制度を利用

すぐに市の事業にするのは難しいけれど、まずはモデル的に3年間実施してみよう!

### 可能性が広がった

これまで独自に取り組んでいた事業ですが、市と一緒に実施することで周りのからの信頼が高まったり、スムーズに話を進められることが増えたりしました。

また、今まで考えていなかった方法を市から投げかけてくれるので、「もっとこうしてみよう!」と、より良い方向に進む可能性が広がりました。

### まちの財産としてみんなでフォローする体制をつくること。

そのためには、行政と民間が「こうしてほしい」と求め合うだけではなく、お互いができることを掛け合わせて両輪で動いていく中で、ウインウインの関係を築くことが大切だと、同制度を利用して実感しました。



ポノポノプレイスの皆さん

### Case 2

#### 思いがカタチになるまで

コロナ禍で食事に困る子どもを見掛けた。尼崎の海や魚のイメージアップの一環で尼崎産の魚を子ども食堂に無償提供する中で、何かできないだろうか

子ども食堂への継続的な食材の提供と、尼崎市の地産地消を促進するために、同制度を利用

協働推進課が設けたさまざまな団体との協議の場が、新たなネットワークづくりのきっかけに!

### 信用できる!と思った

提案のハードルが高くなかったのと、とりあえず出そう!と思い、2つのアイデアを提案しました。一つはすでに市の所管課に相談していましたが、実現は難しそうでした。でも、協働推進課は真剣に話を聞き、実現できない理由も丁寧に説明してくれました。

行政に相談しても「できるものだけやる」というイメージでしたが、お互いのルールの中でできる方法を一緒に考えてくれたので、信用できると思いましたね。

### 提案して満足!

もう一つの提案も事業化には至りませんでしたが、話し合う中で実現への道筋を立てることができ、新たなネットワークづくりのきっかけにもなりました。提案内容を超えて自分の本業などにも良い影響を与えてくれています。

自分の思いをどうすれば実現できるか悩んでいる人ほど、まずは相談してみることをおすすめします。私は提案して、めちゃ満足しています!



武庫川 ECO-LABO 代表

## こんな提案をお待ちしています

提案内容は原則として自由で、民間ならではの自由な発想やノウハウが詰まった、課題解決型の提案をお待ちしています。

また、本市の職員が「こんなことができないかな」とアイデアを寄せ合ったテーマも設定しています(右表参照)。普段とは違う分野で事業を考えていただくことで、独創的で効果的な取り組みが生まれることもあります。「私たちだったらこんなことができるかも!」という視点でも、ぜひ検討してみてください。

### 募集は5月6日~6月30日(必着)

所定の用紙などを直接か郵送、Eメールで市役所北館4階協働推進課。募集要領など詳しくは、市のホームページをご覧ください。

本市が設定する提案テーマ(一部)
選挙の投票率向上
予防救急・救急車の適正利用の促進
地域での福祉活動をより活発にする情報発信など

### お互いができることを

私たちの事業で大切にしているのは、子どもたちを

アメフトチーム「チャレンジャーズ」と交流したことも!



同カフェでは、家族や先生以外の大人と接する機会もあります